

# 制度改革に対応した**新**入退院業務体制

～ 新入退院業務の体系化～

<入退院業務体制構築\_No.2>

2017.12.25

医療ソフト総合研究所

入退院\_01002

# No.1で解説した「設計時の要点」

## 設計時の要点

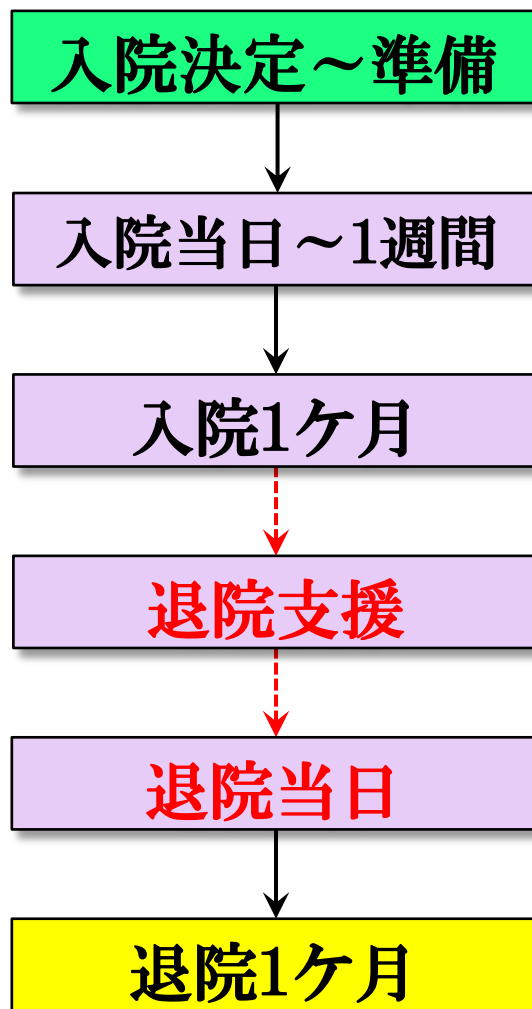
- 18年度同時改定を含めた報酬制度の要求内容を業務に組込む
- 院内・院外が多職種が円滑に連携できる業務内容とする
- 業務が効率的に遂行できる体制とする

## 設計方法の概要

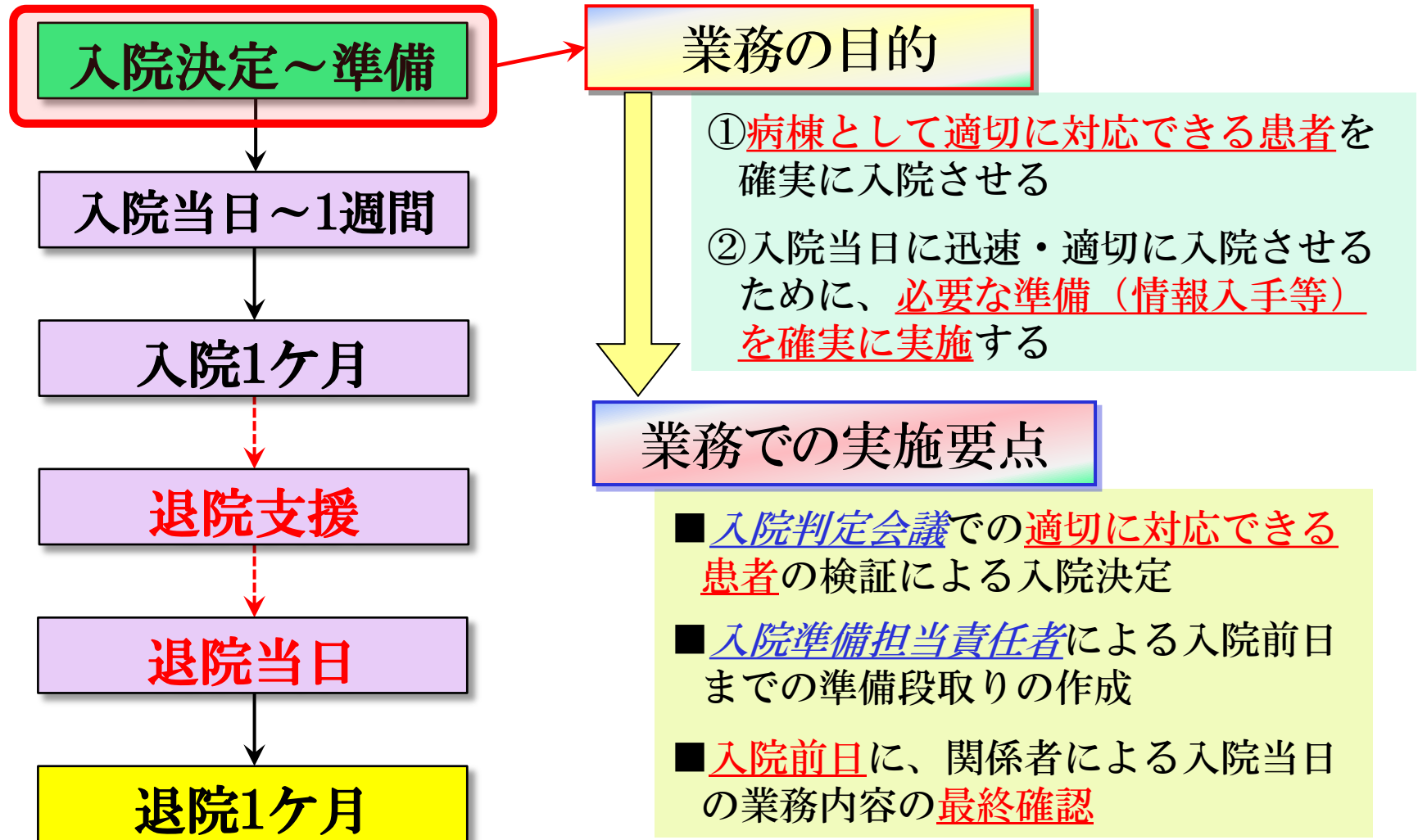
- ① 「患者動線」に基づいて効率的な業務内容を設定する
- ② 報酬制度の要求内容を具体的な業務内容として設定する
- ③ 設定された業務内容を関係職種別に展開する（関係職種と協働作業）

入退院業務の体系化

# 患者動線と入退院業務の体系化



# 患者動線と入退院業務の体系化

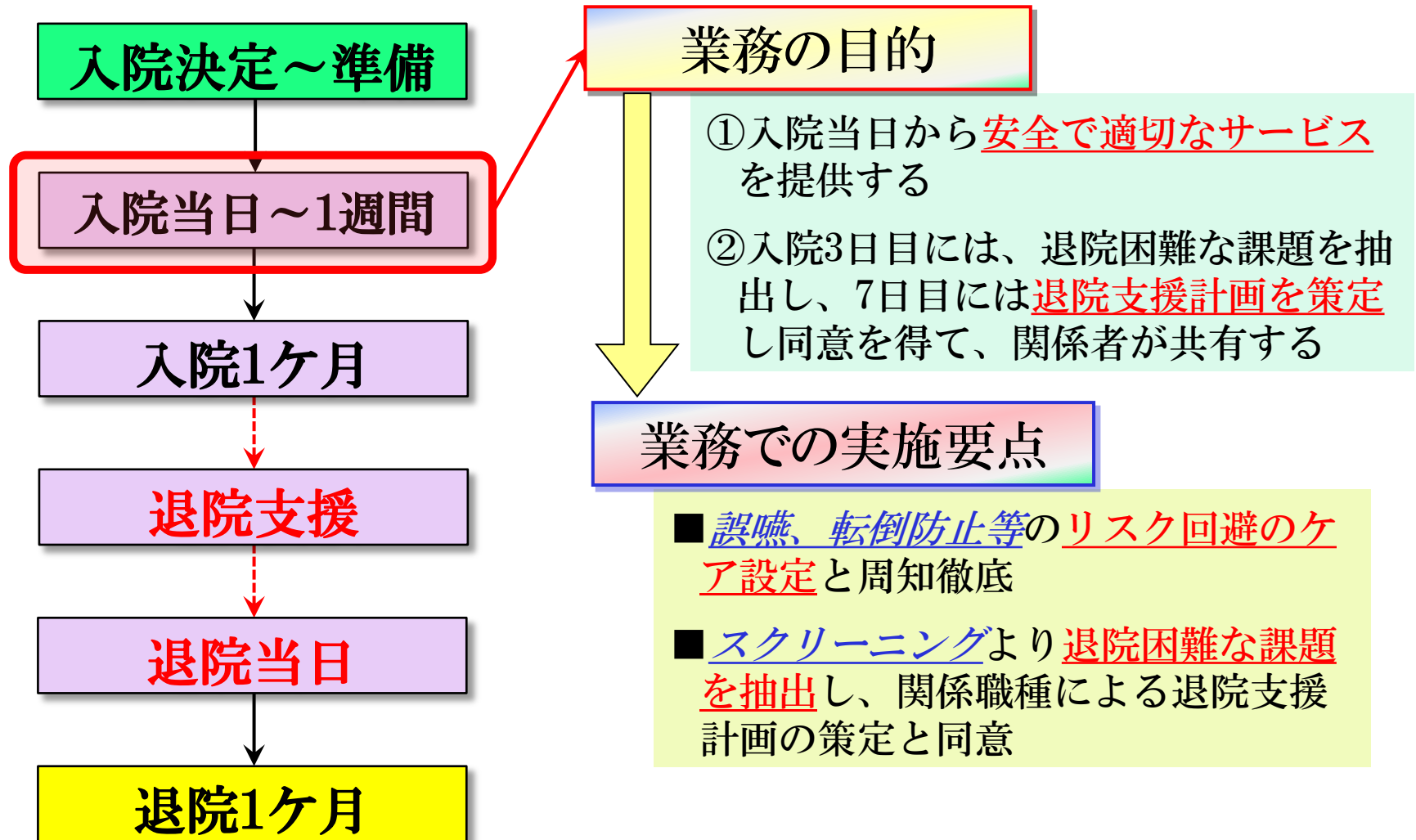


# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「入院決定～準備」の留意点

- 病棟ごとの対象患者層を広げることで、安定した入院患者の確保が可能となる。
- 空床を埋めるための強引な入院は、現場スタッフの不振感が増大するので、要注意。
- 入院前日までの準備業務を、確実に実践することで、入院当日の業務の効率化が図れる。

# 患者動線と入退院業務の体系化

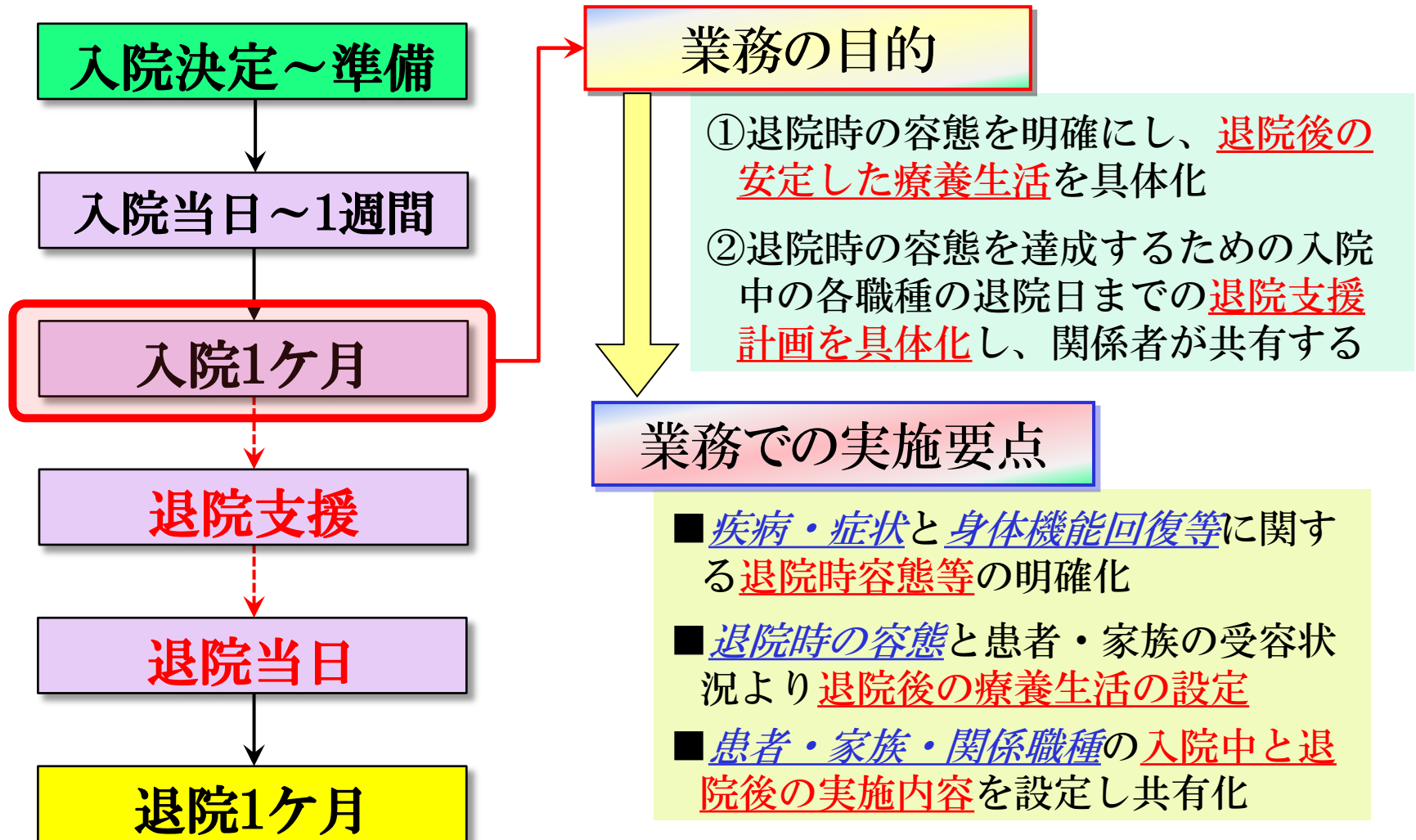


# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「入院当日～1週間」の留意点

- **安全確保を最優先** — 身体・摂食機能のスクリーニングによる**転倒・誤嚥防止の具体的なケア方法の設定**。
- **退院時の想定からの課題抽出** — 退院時の病状、身体機能の回復状況を想定して**退院支援の目的・目標を設定**。
- **退院支援計画の策定** — **各職種別の支援計画を総括した退院支援計画**に患者・家族の状況を加味して決定する。
- **退院支援計画に基づく実施** — 患者・家族を含む関係者の**1か月後の達成目標**を明確にした上で、**カンファレンス**でそれぞれの成果を検証する。

# 患者動線と入退院業務の体系化





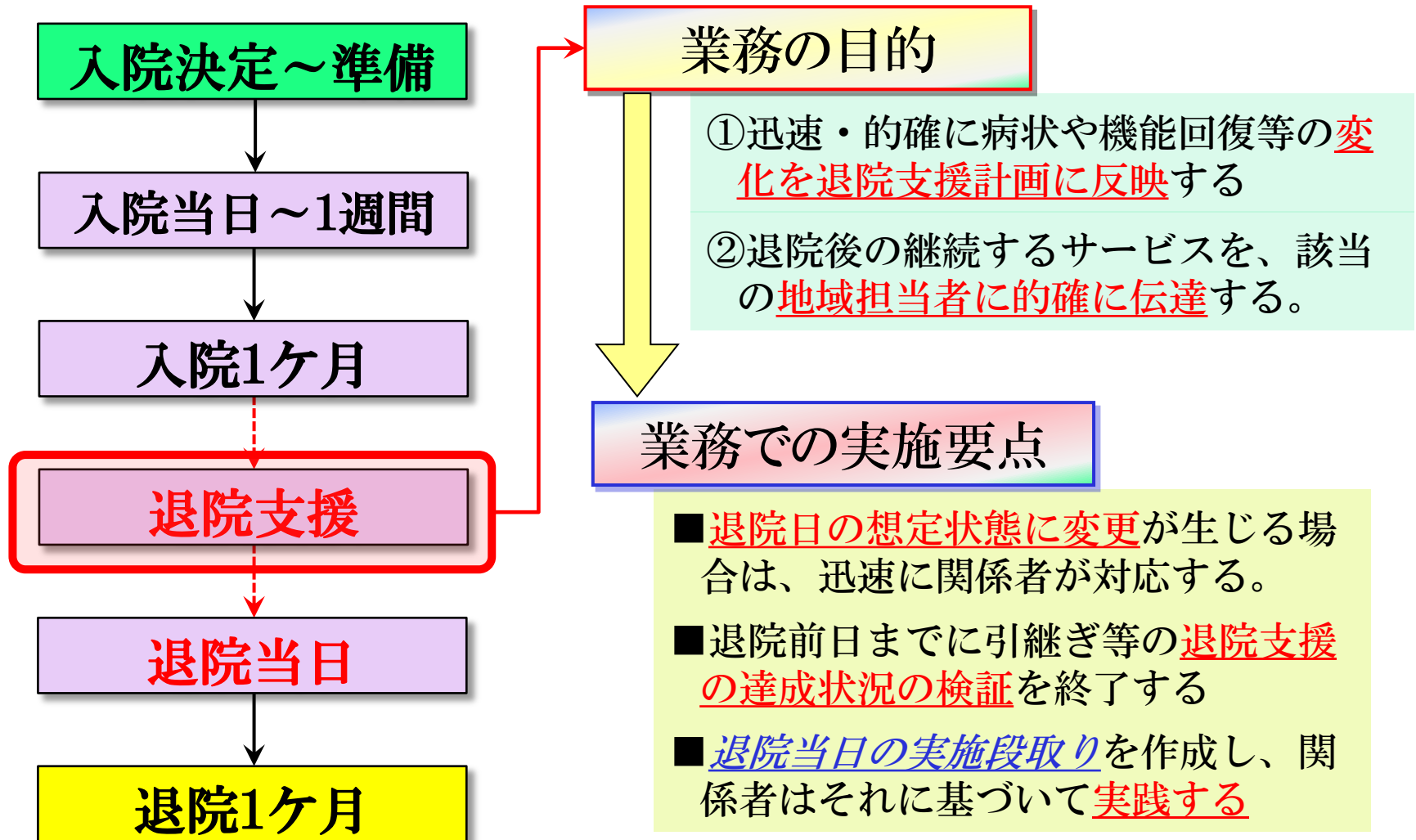
# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「入院1ヶ月」の留意点

- **退院時の容態の明確化** — 入院時に想定した退院時の容態を確定し、これを**退院支援計画の基盤**とする。
- **退院後の療養生活の設計** — 入院前の生活様式と、退院時に想定され**生活様式との違いを退院日までに対応方法**を設定し、退院日までに実施する。
- **目標となる「退院予定日の決定」** — 実施内容の**実現性を検証**して、関係者の実施内容が盛り込まれた退院支援計画の**目標となる退院予定日を決定**する。

1か月後のカンファレンスの役割は**重要**

# 患者動線と入退院業務の体系化

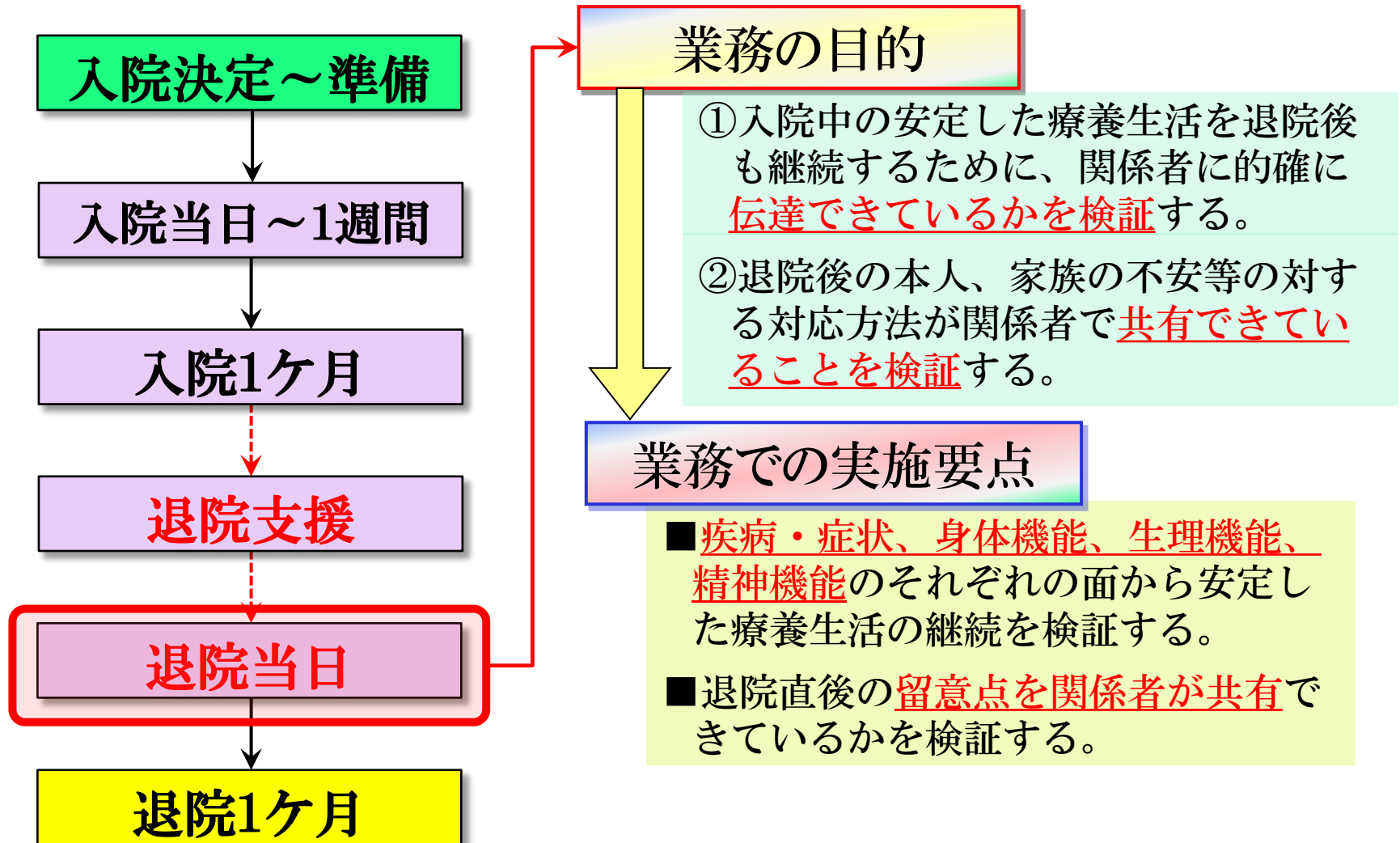


# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「退院支援」の留意点

- **退院予定日の変更** — 退院予定日を変更せざるを得ない病状等の変化の迅速な報告・検討・退院支援計画の変更の方法を、**事前に関係者に周知徹底**する。
- **退院後の安定した療養生活の確保** — 退院後の安定した療養生活を継続するための実施内容を、**退院日に確実に伝達できるように準備**する。
- **安定生活のマネジメント方法の伝達** — 入院中に安定した療養生活を維持するための**患者さんごとに違う「マネジメント方法」を設定**し、退院後にそれを担う担当者への的確に伝達する。

# 患者動線と入退院業務の体系化

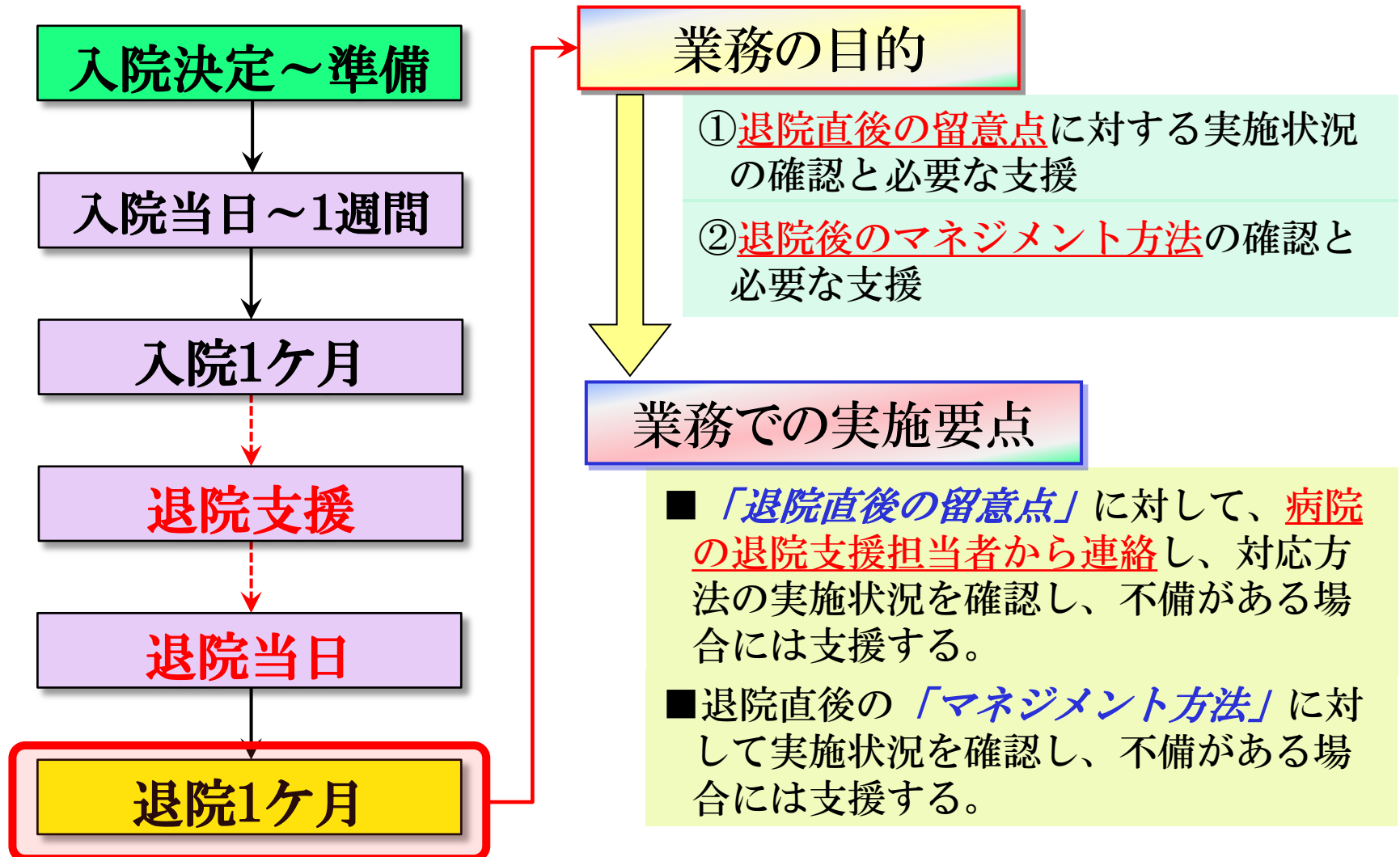


# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「退院当日」の留意点

- **疾病・症状等への対応** — 退院後の**診療の予定と体制**、疾病管理に対する**日常生活上の留意点等**の共有化を検証する。
- **安全の確保の検証** — **誤嚥と転倒防止**に関する本人、関係者の周知徹底を検証する。
- **本人・家族の精神面への対応** — **本人・家族の退院後の不安等**の対応方法に関する関係者の周知徹底を検証する。
- **安定生活のマネジメント方法の伝達** — 退院後の安定した療養生活を維持するための**患者さんごとに違う「マネジメント方法」**に関する関係者の周知徹底を検証する。

# 患者動線と入退院業務の体系化



# 患者動線と入退院業務の体系化

## 「退院1ヶ月」の留意点

- 疾病・症状等への対応 — 診療の予定と体制、疾病管理に対する日常生活上の留意点等の実施状況を検証する。
- 安全の確保の検証 — 誤嚥と転倒防止に関する実施状況を検証する。
- 本人・家族の精神面への対応検証 — 本人・家族の退院後の不安等の状況を検証する。
- 安定生活のマネジメント方法の検証 — 「マネジメント方法」が適切に機能しているかを検証する。

「退院当日の留意点」を中心に検証し、地域の関係者を支援

# 今後の新入退院業務構築について

## 入退院業務構築③の解説内容

次回は、今回解説した「入退院業務体系」に退院支援加算の要求内容を展開した詳細な業務プロセスを構築し解説します。

## 同時改定内容の展開について

18年度4月の介護報酬改定で、ケアマネ、リハビリ、管理栄養士、開業医等との入退院業務に直接影響する内容があります。

これらに関しては、改定内容が明確になった時点で、制作した入退院業務に組込んでいきます。